

平成 30 年度 第 1 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 30 年 6 月 27 日（水） 10 時 00 分～11 時 30 分

2. 開催場所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

3. 出席者 出席 25 名、代理出席 2 名、欠席 2 名、事務局 6 名

出席：川嶋委員、早野委員、大庭委員※、仲田委員、小川委員、三須委員、大塚委員、吉井委員、林委員、座古委員、土屋委員、佐瀬委員、相京委員、越川委員、宮澤委員※、檜垣委員、小林委員※、澤田委員、宇野（誠）委員※、望月委員、宇野（英）委員、藤井委員、青木委員（経済環境部長）、岡澤委員※（都市建設部長）、鈴木委員（教育部長）

代理：川俣委員※（池田氏）、中村委員（飛田社会福祉課長）

欠席：渡部委員、石崎委員

※：新規委員

事務局：矢野企画政策部長、鈴木企画課長、猪野副課長、森統計調査係長、平野主査、石田主事補

4. 会議次第

1 開 会

・会議成立の報告

委員の過半数の出席（25 名出席）であり、東金市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

2 川嶋副会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介 ……委員名簿

4 議 事

・議事案件

(1) 役員の選任について 資料 1

(2) 平成 29 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】資料 2-1
《監査報告》 ……資料 2-2

(3) 平成 30 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】資料 3

(4) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】資料 4、当日配布資料①、②

(5) 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績について【報告】資料 5-1、5-2、5-3

(6) 平成 31 年度 (H30.10-H31.9) 地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】資料 6

(7) その他

5. 閉 会

【概要及び今後の課題】

■ 議事

- (1) 役員の選任について (資料1)
会長 ……東金市 都市建設部長 岡澤 茂 委員 (委員互選)
- (2) 平成29年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について (資料2-1、2-2)
承認
- (3) 平成30年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について (資料3)
承認
- (4) デマンド型乗合タクシーの利用実績 (H29年度) について (資料4、当日配布資料①、②)
今後の課題
 - ・ 予約不成立件数をどこまで抑えるかの目標設定
 - ・ 時間帯別の予約キャンセル数の把握
- (5) 市内循環バス (福岡路線・豊成路線) 利用実績 (H29年度) について (資料5-1、5-2、5-3)
今後の課題
 - ・ デマンドタクシーと循環バスの重複利用者についての把握
- (6) 平成31年度 (H30.10-H31.9) 地域内フィーダー系統確保維持事業について (資料6)
承認
- (7) その他
今後の課題
 - ・ 成田方面への新規路線バス実証試験運行 (山武市実施) について求名駅前団地の振動問題の確認

○ 平成 29 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】

資料 2-1、2-2

(事務局)

【資料 2-1 について説明、資料 2-2 により監査報告】

○ 平成 30 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】

資料 3

(事務局)

【資料 3 について説明】

(委員)

昨年度の事業計画案にあったパーク＆ライドによる交通結節点強化についてはどうなったのか。

(事務局)

昨年度に検討をしたが事業計画に書き込めるだけの整理ができていないため、このような事業計画となっている。今後、可能性の検討を続け整理がついた段階で示していきたいと考えている。

(委員)

昨年度、企画課内で検討したがまだ提示できる段階で無いという認識でよろしいか。

(事務局)

東金 JCT 付近の土地利用について調査がありパーク＆ライドについて可能性を探っており、東金駅については西口の商業施設との連携について可能性を探っていた。進捗が遅いことは重々承知しているが、方向性を示すことが出来るだけの整理はついていないという状況である。

(委員)

住民に対してアンケートを取ったことがあるのか。バスの利便性向上のため、パーク＆ライドについて住民に話したことがあるが、非常にいい案だと言ってくれた。それが検討段階で消えてしまうのは非常にもったいない。大網駅はパーク＆ライドについて非常にいい例だと思っている。市ではサンピアの駐車場や東千葉 MC の駐車場を活用できないか検討するべきだと思っているがいかがか。

(事務局)

市民アンケートは行ったが、パーク＆ライドに特化したアンケートは実施していない。パーク＆ライドを含めた公共交通の充実は市長も訴えているため、様々な意見を参考に第 2 次総合交通計画の見直しを行っていこうと考えている。

○ デマンド型乗合タクシーの利用実績 (H29 年度) について【報告】

資料 4、当日配布資料①、②

(事務局)

【資料 4、当日配布資料①、②について説明】

運行回数や利用者数は増加した。

曜日別に見ると、火曜日、金曜日の利用が比較的多い。

時間帯別に見ると、朝夕に利用のピークがある。

東金地区や田間地区など市街地に居住する方の利用が少ない傾向にある。利用者の約70%を65歳以上が占めている。また、約24%を障がい者が占めている。

予約不成立件数を抑えるために、利用者の増加が少ない8時台増車を中断し、増車時間を9時から11時に変更するためにタクシー組合との協議を進めている。

キャンセル件数の抑制及びデマンドタクシーの利用ルールの周知を図るため、車内でのチラシ配布を検討している。

(委員)

予約不成立者及びキャンセル率の分析及び対策について検討していただいたことは御礼を言いたい。この分析結果を見るとさらに見えてくるものがある。時間帯別利用者数1,500人を越えると予約不成立件数が増えてくる傾向が見られる。予約不成立件数が多い時間帯は翌時間帯にも影響を与えていることが見て取れる。応援車の時間をずらすといった事務局案だが、10時台の影響が11時台にも及ぼすことから妥当であると考え。予約不成立に関しては夕方にもピークがあることについても考えることが必要である。事務局の次のステップは予約不成立の件数をどのレベルにまで落とすかを示す目標設定だと考える。そこで影響をあたえている予約キャンセル率だが、当日資料では時間帯別の予約キャンセル数までは記載されていない。対策を練るためにも、その分析は必要である。予約キャンセル件数のピーク時間帯と不成立件数のピーク時間帯が被っていれば、効果は現れるが違った場合は運行計画の改善及び他の公共交通機関の影響等を考えなければならない。運行計画の改善のためには、各時間帯に各車がどのような運行をしているのか、GPS等を使い追跡することも必要である。最後に質問だが、デマンドタクシーの行政負担率についてはどうなっているのか。

(事務局)

行政負担率としては、63.79%となっている。

(委員)

行政負担率については50%に近づけようとしている自治体が多くなっている。東金市は50%を目指せるだけの利用者数がいることは評価できる点であると言える。

○ 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績（H29年度）について【報告】

資料5-1、5-2、5-3

(事務局)

【資料5-1、5-2、5-3について説明】

福岡路線の利用者数が増加していた一方、豊成路線の利用者数は減少していた。

両路線において利用者の住み分けは継続しているものと考えられる。

便別の利用状況を見ると、第2便が最も多く、第1便が最も少ない。

各地区行政負担率を下げるため、各地区の循環バス推進委員会においても協議し、利用者を増やす等の方策を検討している。

福岡路線のバス買い替えについて、補助金を使い購入し、来年1月頃納車となった後、車体のラッピング等を行って、循環バス車両を入れ替える予定。

(委員)

循環バスの一便当たりの乗車人数をご教示いただきたい。バスの購入についてだが、高齢者に対する配慮等はどうなっているのか教えていただきたい。

(事務局)

一便当たりの利用人数は福岡路線で9人ぐらい、豊成路線で6人ぐらいである。

(事務局)

高齢者に対する配慮についてだが、車外スピーカーが搭載され、視覚障害の方でも利用しやすい配慮がされている。また、補助ステップが滑りにくい等の配慮もされている。

(委員)

バスの新車両の定員は何人か。また、循環バスの行政負担率は未だ高い状況続いているが、地区及び市としてはどのような対策を検討しているのかご教示いただきたい。

(委員)

豊成地区としての取り組みについてだが、70歳以上の住民に対して循環バスを利用しない理由についてのアンケートを実施した。アンケートの結果を元に課題を把握し改善に努めていこうと考えている。また、豊成地区循環バス推進委員会の委員は基本的に区長であるため、1年毎に入れ替わってしまい長期的な施策を実施しにくい現状がある。各地区で任期を2、3年の循環バス担当委員を選任してもらい、長期的な運行改善に努めていこうと考えている。利用人数をすぐ増加させるのは困難なため広告収入を増やそうと考えている。質問だが循環バスにドライブレコーダーは設置されているのか。

(事務局)

現時点では両路線とも設置されていない。

(委員)

豊成地区には防犯カメラがなく、道路標識も見えにくいものが多い。ドライブレコーダーを設置していただければ、子供たちの安全パトロールとしても役立てられるため是非とも設置をお願いしたい。

(委員)

豊成路線については毎回利用していた住民が諸事情により利用できなくなってしまうという事例が散見されていた。利用者増の方策としては免許返納者への割引などや回数券などはいかがか。一つ質問だが、循環バスの新車両の車椅子の搭載は運転手が行うこととなるのか。

(議長)

様々な質問が出ているが、最新の質問に対する回答からお願いしたい。

(事務局)

車椅子の乗降については乗務員をお願いしたいと考えている。

(委員)

そうすると定時運行というのが難しくなるのではないか。

(事務局)

車椅子の乗降には時間を要するため、運行開始の前に地域の住民には時間についての周知をし、ご理解をいただきたいと考えている。

(議長)

続いてドライブレコーダー設置についてと相京委員の質問についての回答を事務局にお願いしたい。

(事務局)

ドライブレコーダーについては、事務局内でも検討しているところである。相京委員からの質問の循環バスの定員であるが、運転手込みで福岡路線が26人定員、豊成路線が13人である。新車両については29人定員になる見込みである。市としての行政負担率の抑制のための方策だが、地区の循環バス推進委員会に職員が参加し行政負担率抑制についての協議をしている。また、有料広告についても職員が企業に直接出向き説明をしている。

(委員)

行政負担率の抑制については地域だけでなく市も連携して考えてかなければならない。行政負担率が高いと循環バスが走っている福岡地区及び豊成地区以外の地区からいろいろ厳しい意見等も出てくるかもしれないので頑張ってもらいたい。先ほど話に出た有料広告の手続きについて教えてほしい。

(事務局)

まず市でA3版の広告の案を作成し、事業者を確認及び了解をいただきに行く。了解をいただけたなら月々1,000円で1年間の契約をお願いしている。掲載方法としては、循環バスの窓枠に両面刷りで掲載という方法をとっている。

(委員)

循環バスの利用者について10割が福岡及び豊成の住民ではない。体感だが福岡の循環バスで福岡地区住民の利用者は6~7割ぐらいであると感じる。利用客の全員が両地区の住民ではないことは理解いただきたい。

(委員)

行政負担率の目標が5割という中で、現状は7割、8割という状況は非常に厳しい。各路線ともに分析が必要である。特にデマンドタクシーとの競合について分析していただきたい。東金市では公共交通のエリアが重複型のため、路線バス、循環バス、デマンドタクシーと3つを住民の意思で選択できる地域が存在している。循環バスを使える範囲内でデマンドを利用している利用者を把握しなければ、循環バスの行政負担率を下げる具体的な議論が打てないのではないか。事務局にはぜひ分析をお願いしたい。

回数券だが他の自治体、例えば君津市では実施されている。実施にあたっては回数券が民間事業者のバスでも使えると誤解しトラブルになった事例があったためご注意いただきたい。

(委員)

循環バスの便数を6便に増やすと委託料もその分1.2倍になるのか。

(事務局)

現在の便数での契約金額となっているため、増便するとなると委託金額についても事業者と改めて協議が必要となる。

(委員)

通勤・通学の時間帯にバスを運行すれば利用率が増えるのではないか。

(事務局)

便数を増やすとなると人件費も増加するため、現在の単価で委託できるかどうかは協議が必要。

(委員)

通勤時間帯に運行していたことはあるが、利用率が上がらず廃止となった。

(委員)

ドライブレコーダーについては、市が設置できないのであれば事業者で設置する予定である。回数券だがトラブルについて気になる。これから研究していければと考えている。

○ 平成 31 年度 (H30 年 10 月 - H31 年 9 月) 地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】
資料 6

(事務局)

【資料 6 について説明】

デマンドタクシーの運行に関して、国の補助金を申請すること、運行事業者として市内タクシー事業者 4 社に委託することについて審議いただきたい。

《質疑なし》

【その他】

○ 成田方面への新規路線バス実証試験運行（山武市実施）について

(事務局)

山武市が実証実験運行するバスについて数便が求名駅に乗り入れることについての説明。

(委員)

求名駅前の団地だが求名駅近くの踏み切りに大型バスが通るとかなり揺れるとの意見をいただいたことがある。事務局ではそのような意見について把握しているか。

(事務局)

踏み切り方面には向かわないと思われる。揺れるという意見は把握していない状況である。

(委員)

求名駅前の団地の住民の意見について聴取する予定はあるのか。

(事務局)

市としては考えていない。山武市に交通会議での意見として報告したいと考えている。

(議長)

山武市からの照会に対して本会議ではバス運行についての地域住民への配慮について疑義が挙がったと山武市へ報告するという整理を取らせていただく。